

みんなのアソビバ×小さな収穫祭を開催

11月3日、プラザきくる・きくる広場で、常葉大附属菊川高校と県立小笠高校による「みんなのアソビバ×小さな収穫祭」が開催されました。心配された天候も開会時には晴れ間が広がり、多くの親子連れでにぎわいました。開会式では両校生徒がイベントへの想いを語り、若者が地域と協働して『まちのにぎわいづくり』を実践しました。

「みんなのアソビバ」では、美術・デザイン科の生徒が菊川駅自由通路開通イベントとして「電車ごっこ」など、子どもたちに向けてアートをモチーフにした遊びブースを展開。「小さな収穫祭」では、小笠高校の生徒が手作り加工品の提供や、障がいのある方の絵画展、就労支援事業所の雑貨販売を行い、地域とのつながりを感じる催しになりました。

その他、高校生まちづくりスクールの企画に加え、労働福祉基金協会や市民活動団体等も参加。会場は若い世代と地域の人々との交流が生まれ、高校生たちが菊川の未来を育んでいく姿を感じさせる一日となりました。



きくがわまちづくり NEWS



六郷小 6 年生の魅力発信プロジェクト

11月14日、六郷小学校6年生が「つながる想い 菊川の魅力の宝箱 in 赤レンガ倉庫」を開催。劇やクイズで菊川の魅力を発信したほか、オリジナルグッズの販売などを行い、多くの来場者が訪れました。



秋の地区センター祭り開催

11月、市内各地区センターで住民主体のセンター祭りが開催されました。ステージ発表や作品展示、模擬店など多彩な企画が並び、地域の住民同士の交流がさらに深まる、貴重な機会となりました。

おかげさまで 10 周年

市民協働センター 10 周年記念交流会

多くの方々のおかげで、菊川市市民協働センターは設立 10 周年を迎えることになりました。皆さまとともに、これまでの歩みを振り返り、そして、これからのことを語り合えることを楽しみにしています。どうぞお気軽にご参加ください。

1月24日(土)

9:30 ~ 14:30

at プラザきくる 3 階 301 会議室



© 菊川市

■ 第 1 部 記念交流会

■ ランチミーティング

■ 第 2 部 夜間中学ってなに？

～学ぶ場を知り、考えるワークショップ～

対象

登録団体や市民活動に関心のある方

参加料

第 1 部 300 円
ランチミーティング 700 円
第 2 部 無料

■ 申込み 1月19日までに直接または右記フォームからお願いします。



申込み & 問合せ 菊川市市民協働センター
メール info@kikucen.net TEL・FAX 0537-35-2220

1月のイベント・講座スケジュール

参加者募集中！

詳しくはきくせんHP▷ イベントをご覧ください→



11日	12月・祝	2人芝居「茶畑で愛を叫ぶ！」～「幸せの黄色いポスト」より～	菊川赤レンガ倉庫	一般 1,000円 高校生以下 500円 (当日+500円)	主 TOMO☆PROJECT 申 菊川文化会館アエル 0537-35-1515
15日 木		せんがまち棚田オーナー募集	菊川市上倉沢棚田	1区画：35,000円	主 NPO法人せんがまち棚田倶楽部 申 090-3251-1390 (堀)
24日 土		きくせん 10周年記念交流会	プラザきくる3階会議室	交流会 300円 ランチミーティング 700円	主 市民協働センター 申 0537-35-2220
24日 土		「夜間中学ってなに？」～学ぶ場を知り、考えるワークショップ～	プラザきくる3階会議室	参加費：無料	主 るなの会・市民協働センター 申 0537-35-2220
24日 土		防災講演会 2026「西日本豪雨から学ぶ 地域防災の必要性」	菊川文化会館アエル 小ホール	参加費：無料	主 ふじのくに防災士菊川市委員会 申 bousaishikugawa@gmail.com
25日 日		赤堀愁 一人芝居「審判～ホロ苦きはキャラメル味の味～」	菊川文化会館アエル 小ホール	一般 2,000円 学生以下 1,000円 (当日+500円)	主 TOMO☆PROJECT 申 菊川文化会館アエル 0537-35-1515
28日 水		村宮汐莉の奇妙な冒険 ～地域おこし協力隊活動報告会～	プラザきくる2階多目的エリア	参加費：無料	主 菊川市地域おこし協力隊 村宮汐莉 申 チラシ申込みフォーム
31日 土		雪まつり	きくる広場 (堀之内 1511 プラザきくる前)	参加費：無料	主 町部地区コミュニティ協議会 申 0537-36-0455

菊川びとにインタビュー

常葉大附属菊川高校 美術・デザイン科



常葉大附属菊川高校美術・デザイン科のみらい学チームは「アートでまちを元気に！」を合言葉に、地域で活動しています。2年生リーダー5人は、学校での“自分と向き合う”表現とは違い、地域では“人と向き合う”共同作業が広がり、多世代のつながりを実感しています。誰でも楽しめるアートを届けたいと「簡単だけど凝って見える」工夫を重視。多様な人との関わりで意見を伝える勇気や話す力も育ち、温かい菊川だから挑戦できると感じています。3月の菊川駅自由通路開通イベントでは会場装飾にも挑戦します。「コミュニティを大切にし、これからも菊川に笑顔とつながりを広げたいです！」と話してくれました。

レポート

コミュニティビジネスセミナー開催



市民協働センターでは、地域課題をビジネス手法で解決する力を学ぶ「イチから始める！コミュニティビジネスセミナー」を開催しました。第1回は地域の変化や社会的資本など基礎的な視点を学び、第2回では仲間づくりや組織化、事業構想の方法など実践的な内容に取り組みました。最終回は森のようちえん立ち上げを目指すNPOと共にフィールドワークを実施。駅近くの森を歩き、拠点づくりやアクティビティのアイデアを語り合い、現地に触れながら事業の可能性を探る時間となりました。参加者からは「考え方のコツを楽しく学べた」「自身の活動に生かせる学びが多かった」などの声が寄せられました。